

### 1. 1. 4 ホッケ

担当者 調査研究部 田中 伸幸

#### (1) 目的

ホッケは、オホーツク総合振興局管内において沖合い底曳き網（以下、沖底と称す）漁業、底建て網漁業、定置網漁業などの重要な漁獲対象資源である。そのため、ホッケ資源に関する調査と資源評価を行い、管内の漁業経営の安定化を図る。

#### (2) 経過の概要

沖底漁業の漁獲量集計は「北海道沖合底曳網漁業漁場別漁獲統計年報」、沿岸漁業の漁獲量集計は「漁業生産高報告書」を用いて集計した。なお、昨年までの沿岸漁獲量中には「遠洋底曳き網」の漁獲量が含まれている年があり、本年の資料ではこの数値を除いた値に訂正した。

沖底・底建て網漁業の漁獲物から得た標本について生物測定を行い、得られた漁獲物銘柄別漁獲量から漁獲物体長組成を推定した。

#### (3) 得られた結果

##### ア 漁獲量の推移

オホーツク海海域におけるホッケ漁獲量を表1と図1に示した。1985年以降の漁獲量は増減しつつ1～6万トンの中で変化した。近年の漁獲量は2008年が37,558トンであったが、2009、2010年は減少し、2010年は9,814トンとなり、1985年以降では最低となった。

沖底の漁獲量は全体の漁獲量変化とほぼ同じ変化傾向を示し、当海域におけるホッケ漁獲量は、沖底の漁獲動向によって大きく左右される（図1）。近年の漁獲量は2008年が26,803トンであったが、2009、2010年は減少し、2010年は4,515トンとなり、1985年以降では最低となった。

沿岸漁業の漁獲量は大部分がオホーツク総合振興局管内の漁獲量である（表1）。1985年以降の漁獲量は、増減はあるものの沖底ほどの変動幅はなく、3千～1万4千トンの中で推移した。近年の漁獲量は2008年に10,755であったが、2009、2010年は減少し、2010年は5,300トンと1985年以降では最低レベルとなった。

沿岸漁業の漁業別漁獲量を表2と図2に示した。オホーツク海の沿岸漁業では、ホッケは主に

表1 オホーツク海におけるホッケの漁獲量

年	沖底漁業	沿岸漁業			合計
		宗谷	オホーツク	小計	
		総合振興局	総合振興局		
1985	10,640	105	3,349	3,454	14,095
1986	17,434	437	7,376	7,813	25,247
1987	20,457	346	6,695	7,041	27,498
1988	17,908	391	7,034	7,424	25,332
1989	24,869	265	5,080	5,344	30,214
1990	22,734	147	5,499	5,646	28,380
1991	18,846	45	3,840	3,885	22,730
1992	4,749	77	5,399	5,476	10,225
1993	23,389	119	7,574	7,693	31,081
1994	16,862	59	5,751	5,810	22,672
1995	10,478	339	8,837	9,176	19,655
1996	25,391	191	12,380	12,571	37,963
1997	23,657	195	12,006	12,201	35,857
1998	42,930	59	13,020	13,079	56,010
1999	15,788	512	10,034	10,546	26,334
2000	22,985	90	10,033	10,123	33,108
2001	14,249	104	5,601	5,704	19,953
2002	17,771	461	13,480	13,941	31,712
2003	23,492	583	12,032	12,616	36,108
2004	44,160	261	10,787	11,049	55,209
2005	18,688	180	8,529	8,709	27,397
2006	12,557	351	10,407	10,758	23,315
2007	18,657	127	5,125	5,252	23,909
2008	26,803	484	10,272	10,755	37,558
2009	10,532	414	7,669	8,083	18,615
2010	4,515	51	5,249	5,300	9,814

\*2010年は、暫定値

資料：沖底は、沖底統計の中海区「オコック沿岸」の日本水域  
沿岸は、漁業生産高報告書（猿払漁協からウトロ漁協まで）

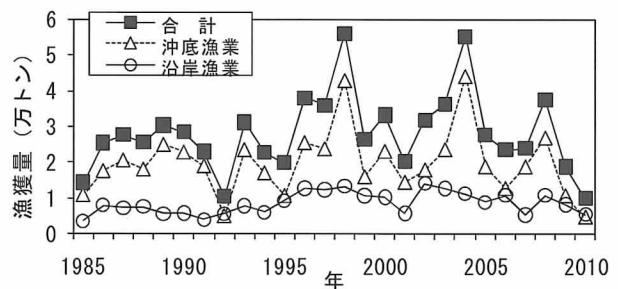


図1 オホーツク海におけるホッケ漁業別漁獲量の経年変化

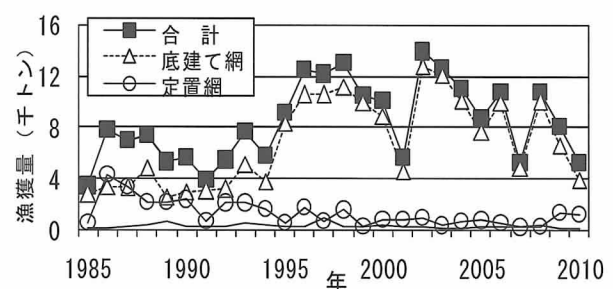


図2 沿岸漁業のホッケ漁業別漁獲量の経年変化

表 2 オホーツク海におけるホッケの沿岸漁業漁業別漁獲量

年	宗谷総合振興局			オホーツク総合振興局			合計			合計
	底建て網	定置網	その他	底建て網	定置網	その他	底建て網	定置網	その他	
	1985	76	8	21	2,682	528	139	2,758	536	
1986	300	135	1	3,058	4,165	154	3,358	4,300	155	7,813
1987	85	261		3,238	3,134	324	3,323	3,395	324	7,041
1988	248	142		4,603	1,989	441	4,852	2,131	441	7,424
1989	36	13	215	2,563	2,124	393	2,600	2,137	608	5,344
1990	4	100	43	2,979	2,272	247	2,983	2,372	291	5,646
1991	5	34	7	3,022	613	205	3,026	647	211	3,885
1992	68	7	1	3,109	2,090	200	3,177	2,097	202	5,476
1993	100	18	1	5,000	2,064	509	5,101	2,082	510	7,693
1994	51	7	1	3,699	1,664	388	3,750	1,671	389	5,810
1995	326	13	0	8,060	538	239	8,386	551	240	9,176
1996	173	17	1	10,417	1,715	248	10,590	1,732	249	12,571
1997	193	0	1	10,410	711	885	10,603	712	886	12,201
1998	53	4	3	11,144	1,559	317	11,197	1,563	320	13,079
1999	509	4	0	9,459	300	275	9,967	303	275	10,546
2000	85	5	1	8,853	800	380	8,938	804	381	10,123
2001	96	7	1	4,531	825	244	4,627	832	245	5,704
2002	442	10	9	12,340	914	226	12,782	924	235	13,941
2003	573	7	3	11,527	364	142	12,100	371	145	12,616
2004	252	4	5	9,901	724	162	10,154	728	167	11,049
2005	149	31		7,581	742	241	7,731	773	241	8,745
2006	345	4	1	9,654	519	234	9,999	524	235	10,758
2007	123	2	2	4,693	203	230	4,816	205	231	5,252
2008	475	2	6	9,551	318	403	10,026	320	409	10,755
2009	401	11	1	6,177	1,303	189	6,578	1,314	190	8,083
2010	40	10	0	3,883	1,234	131	3,923	1,245	132	5,300

\*2010年は、暫定値  
資料：漁業生産高報告書(猿払漁協からウトロ漁協まで)

底建て網で漁獲される。近年の底建て網漁獲量は2008年が10,026トンであったが、沖底同様に2009, 2010年は減少し、2010年は3,923トンであった。

定置網類の漁獲量は、1990年代前半までは底建て網と同程度であった。しかし、その後底建て網の漁獲量は増加したが、定置網類はほぼ横ばいで推移しており、2010年は1,245トンであった。

その他漁獲量は刺し網類などが含まれるが、漁獲量は少なく、2010年の漁獲量は132トンであった。

イ 漁獲物体長組成

紋別漁協で漁獲されたホッケについて、標本銘柄別漁獲量で引き延ばした漁獲物の体長組成を図3に示した。

春期(6月)の漁獲物体長組成は底建て網のモードが24cm台であったが、秋期(12~翌1月)には、底建て網のモードが23cm台、沖底(トロール)が22cm台と、ほぼ同様であった。本年の秋期漁では沖底・底建て網とも漁獲が少なく、1月に得られた沖底標本は銘柄「バラ」のみであった。そのため、実際の沖底の体長組成には25cm以上のホッケも含まれると思われるが、例年、その比率は25cm以下に

比べて非常に低く、本年組成も12月底建て網標本とおおよそ同じであったと思われる。

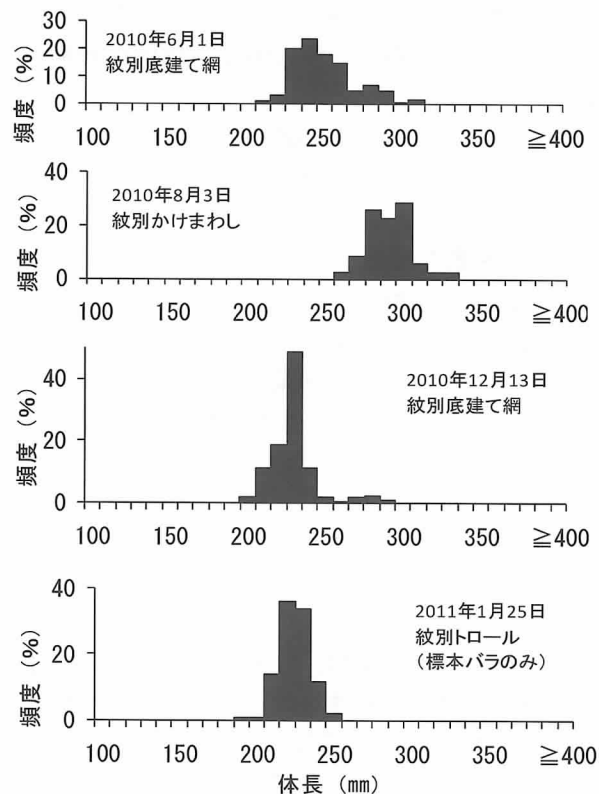


図3 2010年度に採集したホッケ漁獲物の体長組成